

ウェルトニックシリーズ

# Weltonic

MINATO MEDICAL FITNESS MACHINE

WTS series

## レッグエクステンション

## WTS-02L

測定機能付自力運動訓練装置  
一般医療機器/特定保守管理医療機器  
ウェルトニック WTS-02  
届出番号:27B2X00088000020

高齢になると、膝関節の可動域が狭くなる  
場合が多く見られます。運動することにより  
歩幅が広がり、膝が安定し、階段の上り  
下りもスムーズになります。



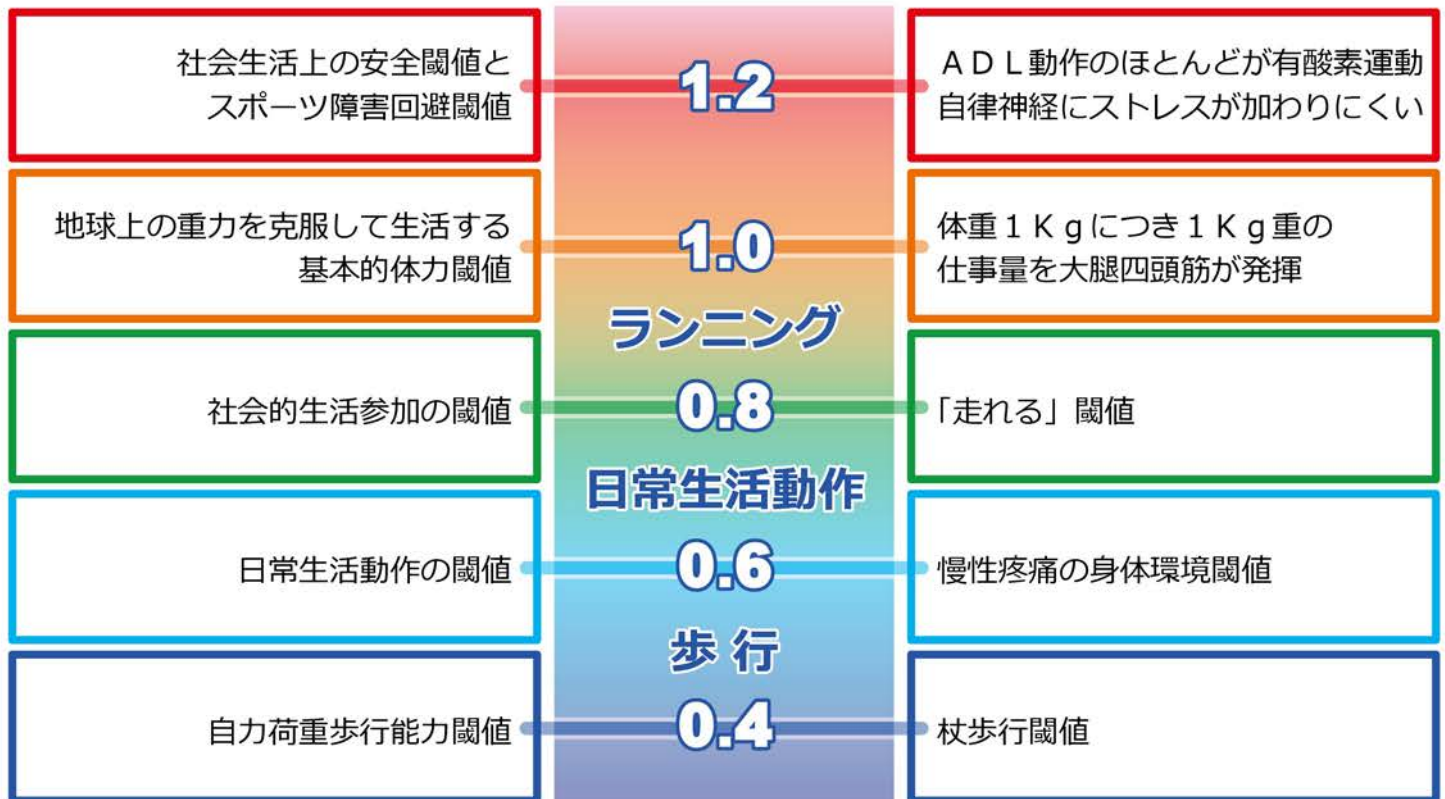
**WBI**  
測定可能

WBI (weight bearing index) とは

膝関節伸筋群の等尺性随意最大筋力 (MVC)  
を体重で割った体重支持指数のことで、下肢  
の運動機能評価の指標として用いられる。

# WBI(Weight Bearing Index) = 体重支持指数

人が重力に抗して  
どれだけの運動機能を有しているかを示す



※SD 機器使用手引き書より改変

例えば、介護予防の場合では日常生活が行えることを目的としているため、WBI 0.6を目標値に設定しています。社会復帰を目的にするのならばWBI 0.8以上を目標に設定します。患者のニーズと現状値を踏まえ、その人に合った目標を設定することがトレーニングを持続・成功させる重要なポイントになります。

(引用：ミナト医科学株式会社 SD 機器使用手引き書)

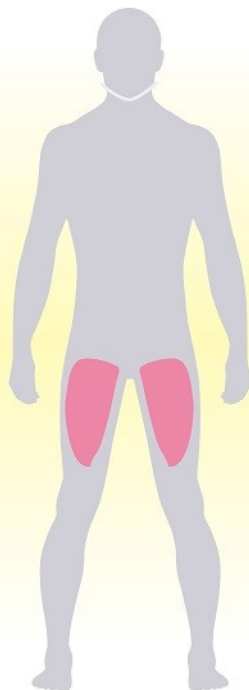
ウェルトニックシリーズ

**Weltonic**  
MINATO MEDICAL FITNESS MACHINE

WBI 測定が可能な、  
ミナト医科学のウェルトニック



高齢になると、膝関節の可動域が狭くなる場合が多く見られます。運動することにより歩幅が広がり、膝が安定し、階段の上り下りもスムーズになります。



### 強化される筋肉

・ 大腿四頭筋

大腿四頭筋の筋力運動に用い、その最大筋力及びトレーニング回数を測定する。



#### <ウェルトニックの一般的注意事項>

- 01) 血圧など健康状態をチェックし、支障のないことを確認した上で使用すること。
- 02) 運動に適さない服装・はきもの、はだしでは使用しないこと。
- 03) ワイヤ、プーリ、スライドシート、ハンドルなどの可動部にまきこまれたり、はさまれたり、ぶつかったりしないよう十分注意すること。
- 04) 幼児などが近寄らないよう注意すること。
- 05) 管理者の指示に従い、体力にあった負荷でトレーニングすること。
- 06) 初めて使用するときは、負荷は低めに、回数は少なめに設定すること。
- 07) トレーニング、筋力測定の前には、ウォームアップ・クールダウンを行うこと。
- 08) 正しい姿勢・呼吸法でトレーニングすること。
- 09) ゆっくり一定のテンポでトレーニングすること。
- 10) 機構部に衝撃を与えるような使い方はしないこと。
- 11) ワイヤがたるむような急速な運動はしないこと。
- 12) 使用中は、モータユニットにカバーなどをかけないこと。
- 13) 使用を終了するときは、装置本体のスライドシート、パッド、ハンドル等の可動機構部が元の位置に戻っていることを確認後、電源スイッチを「切」にすること。
- 14) 本機は屋内使用専用につき、屋外で使用しないこと。